

第5章 教育行政経営の基盤強化

教育関連施設を教育行政の資源と捉え、安全かつ適正に整備することにより、教育行政経営の基盤強化を図るとともに、効率的な管理・運営を行うことにより、良好な教育環境のもとで、市民の自己教育、相互教育の発展をめざします。

関連する主な
SDGs*のゴール



【施策 10】教育施設の適正化

(1) 教育施設の整備・充実

- ア 学校施設の整備・充実
- イ 社会教育施設の整備・充実
- ウ スポーツ施設の整備・充実

【施策10】教育施設の適正化

(1) 教育施設の整備・充実

ア 学校施設の整備・充実

■ 現状と課題 ■

学校施設の整備については、児童生徒等の安全を確保するため耐震化を優先して進め、全ての幼稚園・小学校・中学校の施設について平成28年度までに完了しました。高等学校については、市立高等学校3校を再編・統合した川口市立高等学校が、平成30年度に新たな校舎で開校し、順次進めてきたアリーナ棟等の施設についても令和3年度に整備が完了します。

一方で、施設の多くは建築後30年以上を経過し、老朽化が著しい学校施設も多くなっているため、必要に応じて適宜適切な修繕や改修を行い、施設の健全性を維持することが重要です。さらには、施設の改修や更新には多額の費用が必要であることから、中長期的な視点での計画的な整備が求められます。

■ 施策の方向性 ■

- ◆学校施設は児童生徒等が1日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たしていることから、安全性の確保を最優先に施設整備を進めます。
- ◆社会の多様性や生活様式の変化を考慮し、施設の機能性を向上させるとともに、新たな教育内容や教育方法の変化に対応できるよう、学習環境の整備に努めます。
- ◆施設の老朽化対策については、川口市学校施設長寿命化計画に示された中長期的な整備方針、整備計画に基づいて整備に努めます。

■ 主な取り組み ■

1 安全・安心な施設整備の推進

- 天井や外壁材などの非構造部材*や、ブロック塀等の安全性について、継続的な点検を行い、必要に応じて適切に対策を講じます。
- 夏季の学校活動や部活動において安全に活動できる環境を整備するとともに、災害時の避難所としての機能向上を図るため、中学校体育館に空調機の設置を進めます。

2 学習環境及び生活環境の整備

- 時代に即した新たな学習内容や多様な指導形態に対応できるよう、学習環境の向上に努めます。
- 生活様式の変化や社会の多様化に対応するとともに、バリアフリーの観点も考慮し、誰もが快適に過ごせる学校の生活環境の整備に努めます。

3 学校施設の老朽化対策の推進

- 施設を将来にわたり長く使い続けるために、継続的な点検を実施し、日常的な維持管理に努めるとともに、経年により劣化の著しい部分については緊急性や必要性に応じて適宜適切に維持補修を進めます。
- 老朽化の進んだ学校施設については、川口市学校施設長寿命化計画の方針に基づき、中長期的な視点に立ち、改修や改築を検討します。



川口市立高等学校・附属中学校 校舎

イ 社会教育施設の整備・充実

■ 現状と課題 ■

本市では、中核的な社会教育施設として位置づけている、公民館、図書館を中心に、多くの市民の参加による生涯学習活動が展開されていますが、社会教育施設の多くは、昭和40年代から50年代の第二次高度経済成長期に建設・整備されたため老朽化が進行しており、今後も事業を継続的に行っていくためには、耐震化や改修・改築工事等を計画的に行う必要があります。

また、施設の整備にあたっては、少子高齢化に伴う人口減少や社会構造の変化に対応するとともに、施設の利用実態等も踏まえ検討していくことも必要です。

■ 施策の方向性 ■

- ◆耐震化や改修・改築工事等を計画的に行い、施設の安全性の確保や機能の充実に努めます。
- ◆施設整備にあたっては、少子高齢化に伴う人口減少や社会構造の変化とあわせ、施設の利用実態等も踏まえ効率的な整備を検討します。

■ 主な取り組み ■

1 社会教育施設の計画的な整備

- 耐震化や改修・改築工事等により、安全性の確保や機能の充実に取り組めます。
- 少子高齢化に伴う人口減少や社会構造の変化に対応するとともに、施設の利用実態等も踏まえた施設整備を検討します。



領家公民館



前川図書館

ウ スポーツ施設の整備・充実

■ 現状と課題 ■

本市では、スポーツを身近に捉え、誰もがスポーツに親しむことができるようスポーツ施設を整備していますが、建築年数の経過による老朽化対策が課題であり、今後は、バリアフリー化を含め、施設の改修や設備機器の更新などを計画的に進めていくことが必要となっています。

また、多様な市民ニーズや社会環境の変化に的確に対応するために、サービスや施設の運営など、常に改善することも求められており、これらに対応するため、多様な運営主体として、指定管理者制度*を導入しているところでもあります。

■ 施策の方向性 ■

- ◆誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会を実現するために、いつでも楽しく安全にスポーツ活動に親しめる施設として、また地域コミュニティの活用拠点として、スポーツ施設の整備・充実に取り組みます。
- ◆施設の整備、改修及び設備機器の更新を計画的に進め、安全・安心な管理運営に取り組みます。
- ◆施設の管理運営体制については、市民の健康・体力づくりやスポーツに対する需要に応え、スポーツ活動の場として質の高い市民サービスの提供に努めます。

■ 主な取り組み ■

1 スポーツ施設の整備

- 市民が、スポーツ活動に親しめるよう、既存のスポーツ施設の有効活用とスポーツ施設の整備を推進します。
- 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方や障害のある方など、誰もが安心してスポーツに親しめる施設づくりの実現のため、バリアフリー化の推進に努めます。

2 施設の改修・設備機器の更新

- スポーツ施設は、地域コミュニティの拠点としても活用されており、利用者ニーズを踏まえ、計画的な施設の改修及び設備機器の更新に努めます。

3 管理運営体制の見直し

- 多様な市民ニーズ、社会環境の変化に的確に対応するため、指定管理者制度*など、民間能力の活用等により、効率的な施設管理運営に努めます。



西スポーツセンタープール

